

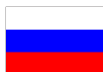
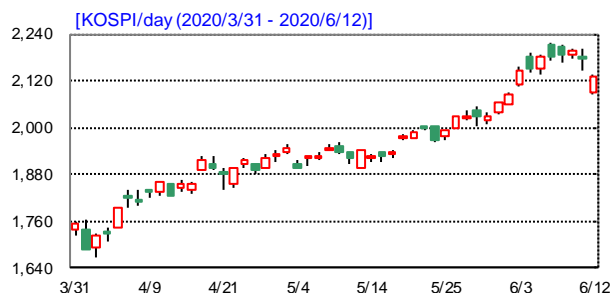


## 【韓国】 総合指数は週間で2.3%安と4週ぶりに反落、今週は上値重い展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.3%安と4週ぶりに反落した。先月29日から9営業日続伸し、10日は2月19日以来、約3カ月半ぶりの高値を付けるなど前半は好調だった。予想に反して強い内容だった米雇用統計が好感されたほか、新型コロナで打撃を受けた世界経済の早期回復への期待が買いを支えた。ただ、サムスン電子はグループの事実上のトップである李在鎔副会長を巡る逮捕状の請求などで株価が乱高下した。一方、指数は週後半に続落。FRBのパウエル議長が景気に慎重な見通しを示したことが嫌気されたほか、ここ最近の上昇を受けた利益確定売りが指数を押し下げた。今週は高値警戒感から上値の重い展開か。北朝鮮と韓国が9-10日に通信回線を遮断すると表明しており、両国関係を巡るニュースも懸念材料となる。

▼指数チャート

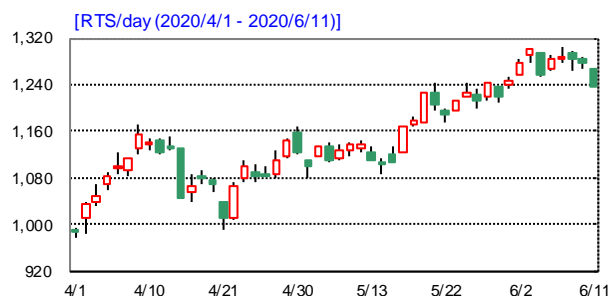


## 【ロシア】 RTS 指数は3.7%安と4週ぶり反落、今週も原油相場が大きく影響か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で3.7%安と4週ぶりに反落。欧米株安や原油安が嫌気され、週末に大きく下落した。先週は12日が休場で4日間の取引。週明け8日は原油安の中で海外株高が支援となり、小幅高で引けたが、その後は10日まで上値の重い展開が続き、11日に大きく下落した。米FOMCの結果やコロナ感染第2波の警戒感から欧米株式が大きく調整する中、ブレント原油の6%超の下落ループル安が重し。RTS 指数は3.1%安の1238.11ドルと3日続落し、5月29日以来の水準まで押し戻された。個別では食品小売りのX5リテール、産金のポリメタルが大幅高となった一方、エネルギーのロスネフチ、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが大幅安で、指数を押し下げた。今週も原油相場や欧米株価をにらんだ展開が続くか。

▼指数チャート

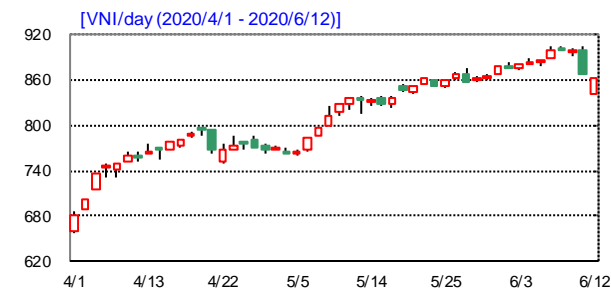


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.6%安と6週ぶり反落、今週は神経質な値動きか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.6%安と6週ぶりに反落。米国で景気回復期待が後退したことでリスクオフの流れが強まり、週後半に大きく下落した。週明け8日は前週末の米5月雇用統計を好感し、米国株が大幅高となった流れを受けてVN 指数も前営業日比1.5%高と6月3日から4日続伸。その後、9-10日に狭いレンジでもみ合うと、11日は3.6%の大幅安。米FOMCで2022年末までのゼロ金利政策継続が示唆され、景気回復期待が後退した上、新型コロナウイルス感染拡大第2波への警戒感が高まり、ベトナム株にもリスクオフの流れが波及。VN 指数は12日も0.4%安と続落した。セクター別では生活必需品、金融、不動産、エネルギーなどが売られ、指数を押し下げた。今週は米中関係や欧米株価をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート



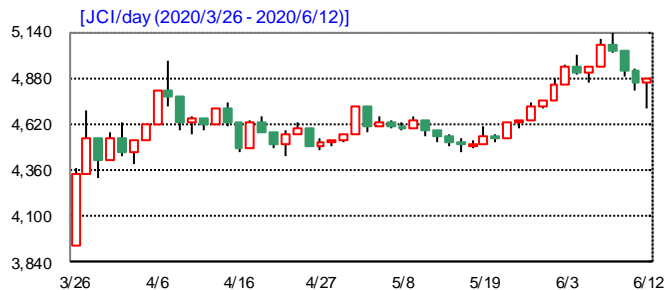


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%安、新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%安と 4 週ぶりに反落。週初に終値で 5000 ポイントを超えたが、その後は軟調な値動きが続いた。8 日は前週末に発表された 5 月の米雇用統計の内容が市場予想から上振れた効果で、前営業日比 2.5%高と続伸。ただ、9 日に反落すると、10 日は新型コロナウイルスの 1 日当たりの新規感染者数が 1000 人を超えたことが嫌気され、前日比 2.3%安と終値で 3 日ぶりに 5000 ポイントを割り込んだ。11 日も売りが優勢の展開が続いたが、12 日は 4 日ぶりに反発して引けている。今週は 15 日に 5 月の貿易統計が発表されるほか、18 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

### ▼指数チャート

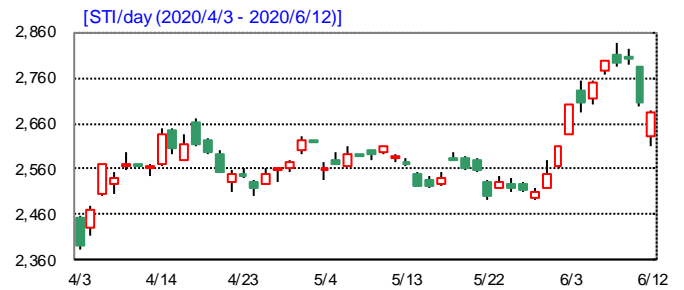


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.4%安、今週は 5 月の非石油地場輸出に期待**

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.4%安と 3 週ぶりに反落。週後半の下落が痛手だった。週初の 8 日は、前週末の NY ダウが大幅上昇した流れを引き継ぎ、前営業日比 1.7%高と 6 日続伸。9 日は小幅に反落したが、10 日には買い戻されて終値で 3 カ月ぶりに 2800 ポイント台に乗せた。ただ、11 日は前日にパウエル米 FRB 議長が FOMC 後の会見で「雇用回復に時間がかかる」との見解を示し、NY ダウが続落した影響で指数は前日比 3.4%安と反落。12 日には終値で 2700 ポイントを割り込んで引けている。今週は 17 日に 5 月の非石油地場輸出が発表される予定で、4 カ月連続で前年同月の水準を上回れば好材料。

### ▼指数チャート

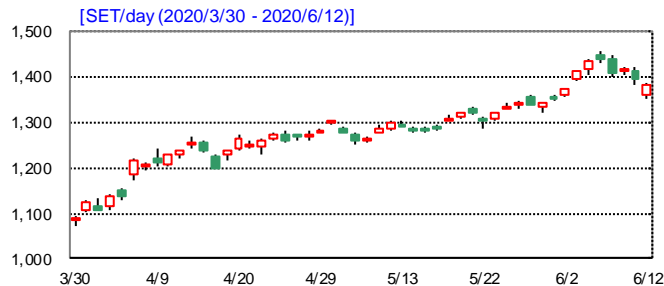


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 3.7%安、原油価格下落でエネルギー株に売り**

SET 指数は週間で 3.7%安と 5 週ぶりに反落。国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右した。週初の 8 日は 6 営業日続伸したが、9 日はサウジアラビアが「OPEC プラス」の協調減産とは別枠で実施していた独自の追加減産を 6 月末で終了すると発表した影響で NY 原油先物価格が下落し、エネルギー株が売られて指数は前日比 2.1%安と反落。10 日は活動制限緩和の促進に対する期待感から買い戻された一方、11 日は前日の NY ダウが続落した流れで売られ、終値で 1400 ポイントを割り込むと、12 日も続落した。今週は 15 日に約 2 カ月半続いた夜間の外出禁止令が完全に解除された効果が期待される。

### ▼指数チャート

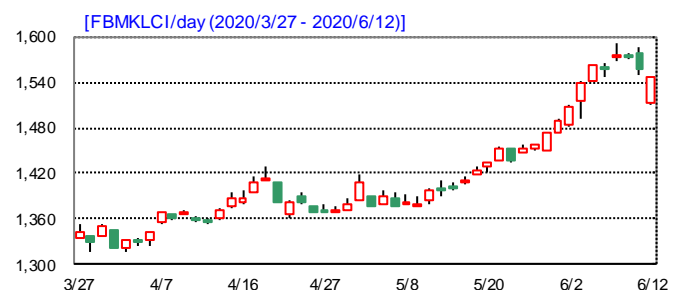


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.7%安、4 月の鉱工業生産は前年同月比 32.0%減**

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.7%安と 5 週ぶりに反落。週前半の上昇分を後半の下落で帳消しにした。連休明けの 9 日は、約 3 カ月間続いた活動制限令の解除を翌日に控え、景気回復への期待感から買い優勢の展開となり、指数は終値で 1 月 22 日以来の高値を更新。10 日は前日からほぼ横ばいだったが、11 日は前日の NY ダウが続落した上、4 月の鉱工業生産が前年同月比 32.0%減と低迷した影響で前日比 1.1%安と反落した。同日に発表されたゴム手袋大手トップ・グローブの 3-5 月期の純利益は過去最高額に達している。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開か。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。